

6 月中に行われた職務検討委員会、北海道実務要覧編集委員会からです。

職務検討委員会だより

「職検へ救世主あらわる!？」



6 月 25 日(木)～26 日(金)、今年度 4 回目の職務検討委員研修会（以下：職検）が行われました。今回は全道事務研前の最後の職検です。5 月に実施した調査アンケート結果の分析と、課題の整理を行い、第 5 分科会の運営に関する細かな打合せも行わなければなりません。

しかし、オブザーバーとして参加した常陸会長の「教育をグローバルな観点から…」などの説法にも似た話に遮られ、中々論議がすすみません。後藤委員長のこめかみ付近がピクピクと動き出し、ボールペンを持つ手が時折震えるのが、隣の席の私にひしひしと伝わります。「もう少しリラックスして考えようよ…」という私の発言も、委員長の怒りを静めるには至りません。それでも調査システムの中核を担った成川委員の「ピボットテーブル」によるわかりやすい調査結果の提示に、委員一同感激しながら分析がすすめられました。

一日目が終了し、明らかに焦りの色を隠せない委員長を横目にして、「何とかしなければ…」と、妙な使命感が湧いてきました。その夜は、後ろ髪をひかれながら、懇親会の二次会を欠席しました。「バス・トイレなし」の学生時代の友人の下宿のようなホテルの一室で、「とんねるず」も「LIFE」も「アメトーク」も観ずに、一心不乱に課題を整理しました。

前夜の私の労苦を知るよしもなく、会長は二日目も快調に話し続けます。そんな時、救世主があらわれました。今年の第 5 分科会の協力者である山崎さん（石狩）と端さん（空知）の両名が二日目の職検に参加してくれたのです。豊富な知識と経験に裏付けされたお二人の発言は、職検に新たな息吹を与えてくれ、私が一夜漬けた課題の整理など全く必要ありませんでした。そして、会長が別の用務のため、退席したのをきっかけに、論議は非常にスムーズにすすみ、何とか予定していた議題を終わらせることができました。委員長にもやっといつもの笑顔が戻りました。

*

調査アンケートからは、色々なことが明らかになりました。詳細については、大会当日配布される大会要項に記載される予定ですが、あらためて「北海道の学校事務」の現状と課題を探る貴重な資料となりました。多くの会員のご協力に心から感謝します。

今回の職検は、諮問事項の検討以外に、全道事務研の分科会運営についてもすすめなければなりません。4 月に人事異動をした委員もいる中、それぞれが日常業務の合間を縫いながら、一年間に 4 回という限られた会議の中ですすめられることは自ずと限界があります。職検の諸活動で会員の納得を得られない部分があるかもしれませんが、この辺の事情もご理解いただき、今後とも厳しくも温かいご支援とご協力をお願いします。

ともかくにも、第 5 分科会の準備は着々とすすんでいます。分科会 2 日目には 10 名程度による小グループの討議も行われます。学校財政財務や保護者負担についての論議が中心になりますが、「参加した当日は楽しく！明日からの学校事務はもっと楽しくなる！」そんな分科会を目指して職検一同頑張っています。多くの会員の第 5 分科会への参加をお待ちしています！

(鷹栖町立北野小学校 天野 修)

北海道学校実務要覧編集委員会より

172-173
北海道学校実務要覧
追録172・173合併号

各巻編集内容

第1巻

- ・ 学校職員の人事事務の取り扱いについて
- ・ 新規採用研修に係る非常勤職員の取扱いについて
- ・ 修学旅行の引率業務等に従事する学校職員の勤務の割振り等に関する要領の一部改正について
- ・ 子の看護休暇と病気休暇の一部改正について
- ・ 教科書事務の取扱いについて
- ・ 公務災害制度について

第2巻

- ・ 初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則について
- ・ 学校職員に係る諸手当の支給に関する取扱いについて
- ・ 単身赴任手当に関する規則の一部を改正する規則について
- ・ 割引切符適用区間表の変更について
- ・ 子を随伴して赴任した場合の赴任旅費の取扱いについて
- ・ 旅費の移転料の調整に係る協議について

第3巻

- ・ 共済 短期給付に係る文言修正及び記入例の更新
- ・ 共済 保健福祉事業一覧の更新
- ・ 共済 宿泊施設一覧の更新
- ・ 互助会 各種例規の改正
- ・ 互助会 給付事業等記入例の更新

第4巻

- ・ 平成27年4月1日改正の行政職給料表・教育職(中・小)給料表、医療職(二)給料表
- ・ 鉄道旅客運賃計算料程表の更新(JR江差線の変更)
- ・ 道内の地方交通線の営業キロ及び換算キロ更新(JR江差線の変更)
- ・ 学校別陸路料程運賃表(松山・空知・上川)
- ・ 第4章 教育関係法規資料更新(学校教育法第93条)

様式集

- ・ 学校職員の人事事務の取扱いについて様式改正
- ・ 職務の遂行上部局(学校)近郊の住居に居住せざるを得ないことの証明書(単身赴任手当)
- ・ 住居転居報告書(へき地手当)
- ・ 旅費請求遅延理由書(欠)

発行は構想からわずか2年後の1963(S38)年2月15日。先輩の情熱と行動力にはただただ敬服するばかりです。

それから52年、道教委のポータルサイト等、ネットの充実は目を瞠るものがありますが、私たち事務職員が私たち事務職員のために編集している「北実」はネット等では代用できないものであると自負しています。

実務の調べものはもちろんのこと、時間に余裕がある時などにもパラパラとめくっていただければと思います。「こんなことも載ってたの?」と思うようなディープな情報の宝庫となっていること請け合いです。 木戸

コラム 「北海道学校実務要覧の歴史」

今では当然のようにある「北海道学校実務要覧」。今回の編集作業(2015(H27)6月17~19日)で追録172・173号を作成しました。

「北実」の歴史は私たちの60回大会記念誌「北響」にもかる一く掲載されていますが、ちょっとおさらい。1961(S36)年、空知協議会が独自に「学校実務要覧」を発行。翌年、札幌市も「事務の手引き」を発行しました。これらを支部のみで編集・印刷・頒布などをしていくには限界があること、また、偶然にも帝国地方行政学会(今の株ぎょうせい)の事業計画と合致したこともあり、1962(S37)、「学校実務要覧編集委員会」が立ち上がりました。

そのときの「仮称 学校実務要覧編集要領 1編集についての基本的態度」に以下のような文章があります。

「現場における学校事務の捉え方を検討するとき、現段階においては数多くの問題点をもっている。これらの問題点をかかえている中で要覧を編集することは難事業である。しかしこれと取組んだ協議会は新たな決意とあらゆるものを克服して編集することに踏み切った。…」

本部の動き

7月16日~17日 第9回役員研修会

札幌市

8月7日 第3回メディア委員研修会

札幌市

=協議会HP 会員専用ページ:「ID」(ユーザー名):74q7h 「パスワード」:gwh28 半角英数=

あとがき

6月に札幌のホテルに会議として利用した時に夏の服装でいったのですが、冷房がきいてるせいか、ずっと動かないで部屋にいと少し寒かった気がしました。夏場の公共の建物はとても涼しくありませんが、ホテルは様々なお客様がいるので、がっちり涼しいです。九州の研究大会に行った時の会場のホテルもそうでした。

さて、9月の全道研の時のホテルライフオフトはどうなってるでしょうか。大会開催時期の9月17~18日は微妙な季節です。暖房が入る温度になってる可能性あり、6月と同様、服装が難しい時期です。(和)